

お世話になります。

株式会社アイランド・ブレインです。

日々の営業活動で活用できるノウハウを
このメルマガでお伝えできればと思います。

*** 営業マネージャーの役割とは？ ***

営業マネージャーの仕事と役割について記載した「営業の教科書」はこちら↓

<https://www.islandbrain.co.jp/blog/role-of-sales-manager/>

このメールは今まで弊社のメンバーと名刺交換をして
頂いた方や、お申し込みを頂いた方に送信をして
おりますが、配信停止をご希望される方はお手数で
すが

下記アドレスまでご連絡下さい。

配信停止はこちらまで →

<https://q.bmv.jp/bm/p/f/tf.php?id=islandbrain&task=cancel>

(お手数をおかけしますが、
入力フォームにメールアドレスを入力後、
解除を選択していただければと思います。)

◆◇ 営業代行サービス成功事例共有 VOL. 669 ◇◆

今週の IB メルマガも引き続き
管理者の心構えについてご紹介できればと思います。
管理者の皆さまはご参考にしていただければと思います。

○ 人に任せることができない

私の業務は他の人に任せることができない・・・。

重要な仕事や多くの業務を熟す管理者から
このような言葉を聞くことがあります。

管理者の意識としてはチームの目標達成に責任を持つことは当然なのですが、特に責任感が強い管理者からよくこのような言葉を聞きます。

- ・自分しかできないので任せることができない
- ・担当者に任せるとお客様に迷惑がかかる可能性がある
- ・他の人に説明する位なら自分でやった方が早い

このような理由から担当者に任せることができず、管理者自身が仕事を抱えるケースが多くあります。

もちろん、この言葉は全てが間違っているわけではありません。任せてはいけない仕事を担当者に任せることはNGです。当然、お客様に迷惑がかかることを分かっている担当者に仕事を託すこともダメです。

しかし今までご紹介してきたように、管理者は「担当者を教育する」という役割があります。

いま担当者ができないことをできるようにしてあげて、そして任せることができるようにする。これこそがまさに担当に対する教育であり、管理者がいつまでも自らの仕事をしてしまうということは、担当者が成長する機会を奪っていることにもなります。

たしかに管理者が熟している業務は、簡単ではないことも多くあると思います。しかし、一般的な企業で仕事をしている限り、管理者でしかできない仕事は皆無であるとも言ってよく、管理者ができる仕事を担当者もできるようにしていくことにより、担当者の成長や収入の増加に繋がっていきます。

自分が仕事を抱えてしまうことで担当者の成長機会を奪ってしまっている。このような観点で担当者教育を考えてみていただければと思います。

(次週へ続く・・・)

営業マネージャーの役割とは？

営業マネージャーの仕事と役割について記載した「営業の教科書」はこちら↓

<https://www.islandbrain.co.jp/blog/role-of-sales-manager/>



営業代行のご相談は下記までご連絡下さい。

株式会社アイランド・ブレイン

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-950-2320 (名古屋)

0120-252-764 (東京)

0120-252-764 (大阪)



このメールマガジンは、株式会社アイランド・ブレインの
メンバーと名刺交換をしていただいた方に配信をしています。

お心当たりのない方、配信停止をご希望される方は
お手数ですが下記メールアドレスまでご連絡下さい。

配信停止はこちらまで →

<https://q.bmv.jp/bm/p/f/tf.php?id=islandbrain&task=cancel>

(お手数をおかけしますが、
入力フォームにメールアドレスを入力後、
解除を選択していただければと思います。)

【発行元 お問い合わせ先】

株式会社アイランド・ブレイン

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-4-6 桜通大津第一生命ビル 3F

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F

〒542-0086 大阪府中央区西心齋橋 2-9-38 おおきに心齋橋 LANDMARK ビル 7F

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-950-2320 (名古屋)

0120-252-764 (東京)

0120-252-764 (大阪)
